

記者会見

日時：令和4年6月28日（火）14時～

場所：伊達市役所東棟 401・402会議室

- 1 令和4年3月16日の地震に伴う被害状況および被災者支援状況 資料1
(市民生活部 防災危機管理課)
- 2 「だてフォト部」第2期生が決定！ 資料2 (総務部 秘書広報課)
- 3 (仮称)高子北認定こども園設置・運営事業者を募集 資料3
(こども部 こども未来課)
- 4 「高校生対象伊達市内企業説明会」を開催 資料4
(産業部 商工観光課)
- 5 梁川美術館企画展「星野富弘 花の詩画展 伊達展」 資料5
(教育部 生涯学習課)
- 6 全国ネットのラジオ番組を活用した伊達の桃PR 資料6
(産業部 農政課)
- 7 北海道における伊達市産「桃」のトップセールス 資料7
(産業部 農政課)
- 8 降ひょう被害に対する支援 資料8 (産業部 農政課)
- 9 市内で開催される夏のイベント 資料9 (総務部 秘書広報課)

令和4年3月16日の地震に伴う被害状況および被災者支援状況 (令和4年6月24日現在)

1 被害状況

(1) 住家の被害

- ① 罹(被)災証明申請件数 3,740件
- ② 罹(被)災証明発行件数(棟数) 5,304件(うち自己判定 2,117件)

判定区分	住家(単位:棟)			非住家(単位:棟)			動産
	調査判定	自己判定	計	調査判定	自己判定	計	
全壊	5		5	82		82	
大規模半壊	13		13	24		24	
中規模半壊	18		18	52		52	
半壊	110		110	184		184	
準半壊	473		473	275		275	
一部損壊	819	1,563	2,382	639	554	1,193	
合計	1,438	1,563	3,001	1,256	554	1,810	493

参考 令和3年2月発生福島県沖地震との被害棟数の比較

住家:全体 約1.7倍 全壊~半壊 約3.0倍

非住家:全体 約2.2倍 全壊~半壊 約1.9倍

2 被災者支援の状況

(1) 被害認定調査

- ① 3月22日より土日祝日を含め訪問調査を継続中
- ② 福島県等の応援を得て1日最大12班体制、6月16日より2班体制
- ③ 応援等の状況
 - ・終了 福島県 : 4月4日~6月15日
 - 山形県米沢市: 4月18日~28日
 - 千葉県白井市: 4月18日~28日
 - ・継続 建築士会 : 3月25日~
- ④ 調査に要した延べ人員数 1,506名
 - 福島県:延べ162名 山形県米沢市:延べ18名
 - 千葉県白井市:延べ18名 建築士会:延べ115名
 - 伊達市職員:延べ1,193名
- ⑤ 進捗状況 約96.5%
 - 要調査申請件数:1,953件、調査済み申請件数:1,885件

(2) 被災者支援制度

別紙のとおり

担当 | 市民生活部防災危機管理課
 電話 024-575-1197

別紙 被災者支援制度の対応状況 (6月24日現在) No.1

制度		対象	申請	申請期限	制度概要
伊達市災害見舞金支給		146	109	R5. 3. 31	住宅半壊以上 10万円
伊達市社会福祉協議会災害見舞金支給		146	109	R5. 3. 31	住宅半壊以上 3万円
災害援護資金貸付			0	R4. 6. 30	世帯主の負傷や住宅・家財に被害
被災者生活再建支援	基礎	146	11	R5. 4. 15	住宅中規模半壊以上(半壊は解体で対象) 住宅の再建方法に応じ、基礎支援金・加算支援金を 合わせ最大300万円
	加算		9	R7. 4. 15	
家屋等の公費・自費解体	公費	374	57	R4. 7. 29	半壊以上(罹災:146件・被災:228件)
	自費		5	R4. 8. 31	
被災住宅の応急修理	半壊以上	146	71	R4. 8. 15	住宅半壊以上 最大59万5千円
	準半壊	473	209		住宅準半壊 最大30万円
一部損壊住宅修理支援		2,382	96	R4. 9. 30	住宅一部損壊 20万円以上の修繕 定額10万円
屋根全面改修費用一部補助		22	22	R4. 12. 28	一部損壊以上住宅の瓦屋根全体改修 最大55万2千円
宅地関連災害復旧補助		35	35	R4. 6. 30	居住宅地の原形復旧5万円以上の修繕 最大65万円
農地関連災害復旧補助		3	3	R4. 6. 30	1箇所の復旧費用5万円以上 1/2・最大20万円
市営住宅の一時提供			11	R4. 6. 30	11世帯入居中 入居期間:原則1年
福島県賃貸型応急住宅(借上げ住宅)			1	R4. 6. 30	1世帯入居中 住宅半壊以上 家賃補助 入居期間:最長2年

別紙 被災者支援制度の対応状況 (6月24日現在) No.2

制 度	対 象	申 請	申 請 期 限	制 度 概 要
介護保険料の減免	110	75	R5. 3. 31	罹災住宅に65歳以上の高齢者がいる場合
国民健康保険税の減免	55	38	R5. 3. 31	住宅半壊以上
国民年金保険料の免除		0	R5. 3. 31	住宅・家財等が概ね1/2以上の損害
市県民税の減免	146	108	R5. 3. 31	住宅半壊以上
固定資産税の減免	451	133	R5. 2. 21	半壊以上(罹災:146件・被災:305件)
水道料金の還付		65	R5. 3. 31	住宅半壊以上
下水道使用料の還付		11	R5. 3. 31	住宅半壊以上
栗野地区農業集落排水処理施設使用料還付		1	R5. 3. 31	住宅半壊以上
保育料減免(保育園・認定こども園・放課後児童クラブ)		0	R5. 3. 31	住宅半壊以上
小中学校就学援助		1	未定	住宅半壊以上
指定文化財修理		0	随時	修繕費用の1/2または1/4上限補助

「だてフォト部」第2期生が決定！

伊達市では令和3年度よりスタートした「だてフォト部」の第2期生を決定しました。

(1) 目的・内容

自らの活動範囲の中で、本市の魅力を画像・映像により広く市内外に紹介するPRサポーターとして令和3年度よりスタートした「だてフォト部」について、第2期生を令和4年4月28日から6月20日にかけて募集しました。応募動機や活動予定などから書類選考を行い、下記の9人と1団体の皆さんに決定しました。任期は委嘱日から1年間となります。

(2) だてフォト部第2期生（五十音順）

氏名	地域	備考
一條 <small>かずえ</small> 一江	保原地域	
小野 <small>やすこ</small> 康子	保原地域	
菊田 <small>るか</small> 瑠香	保原地域	
佐藤 <small>ごういち</small> 豪一	保原地域	
佐藤 <small>さとみ</small> 里美	保原地域	
佐藤 <small>ふみかず</small> 史和	保原地域	
宮崎 <small>りんか</small> 凜花	伊達地域	
八城 <small>よしのり</small> 吉徳	伊達地域	
渡辺 <small>ひろき</small> 裕樹	梁川地域	
せいこうがくいんしゃしんぶ 聖光学院写真部		

(3) だてフォト部の主な活動

- ①市が管理するだてフォト部専用の SNS (Facebook や Instagram) を使って、写真や動画で市の魅力を発信する。
- ②市が行うシティプロモーション推進事業への積極的な参加、協力など。
- ③勉強会 (SNS の投稿、写真撮影等) への参加など。

(4) 委嘱状交付式

日時 7月1日(金) 13時30分～
場所 市役所東棟 3階 応接室

(5) その他

委嘱状交付式の際に、第1期生から引き継ぎを行う。

だてフォト部第1期生 6名+1団体

※委嘱期間令和3年7月1日～令和4年6月30日

(仮称) 高子北認定こども園設置・運営事業者を募集

伊達市では現在売り出し中の高子駅北分譲地（217区画）に居住する子どもたちや、近隣の伊達地域の子どもたちの受け入れ、令和6年冬オープン予定のイオンモール北福島に伴う保育需要の増加などに対応するため、(仮称)高子北認定こども園の設置・運営事業者を募集します。

伊達市の子どもたちが身近な保育施設に通園できる体制をめざします。

(1) 目的

認定こども園整備については民設・民営の整備手法となるため、今回、設置・運営事業者を募集するもの。

(2) 内容

プレゼンテーション審査で応募事業者の中から最高得点を得た事業者を選定。

(3) 募集方法

①公募 ホームページに掲載

②公募期間 令和4年6月16日～8月17日

③応募資格

南東北（福島県・宮城県・山形県）に法人本部があり、かつ南東北において、幼稚園、保育所又は認定こども園を運営している学校法人及び社会福祉法人で、自らが運営できる事業者。

④応募方法 参加表明書をこども部こども未来課に提出

(4) 実施日・場所等

プレゼンテーション審査実施日：令和4年9月末（予定）

(5) 結果の発表方法

応募者に通知。

担当 | こども部こども未来課
電話 024-573-5691

「高校生対象伊達市内企業説明会」を開催

伊達市では、ハローワーク福島と連携し、就職を希望する生徒に対し、魅力ある地元企業の業務内容や企業が求める人材像などを企業の人事担当者から直接聞くことができる「高校生対象伊達市内企業説明会」を開催します。

この企業説明会は、就職を希望する生徒にとっては、地元企業を知り、就職に向けた準備を行うと同時に、地元企業にとっては、自社事業を優秀な若手人材にPRできる絶好の機会となります。地元就労を希望する多くの生徒の参加をお待ちしています。

- 事業概要** 新卒高校生の採用意向のある地元企業1日7社が各社ブースを設け、地元就職を希望する生徒達に業務内容や就労条件などの説明を行います。
生徒は、2日間で最大6社の企業説明を受けることができます。
- 開催日時** 令和4年7月6日（水）～7日（木）
各日 第1回目 16時30分～16時50分
第2回目 16時55分～17時15分
第3回目 17時20分～17時40分
- 開催場所** 保原中央交流館
- 参加企業** ハローワーク福島に高校生求人票を提出した市内企業1日7社（合計14社）
- 対象者** 伊達市内で就職を希望する高校生
※高校1・2年生の参加も可能です。
- 主催** 伊達市・ハローワーク福島

【高校卒業者の求人スケジュール】

- （1）令和4年6月1日 ハローワーク福島で企業からの求人受付開始
- （2）令和4年7月1日 学校に対する求人情報の公開
- （3）令和4年9月5日 学校による推薦開始
- （4）令和4年9月16日 選考開始（以降、採用内定）

梁川美術館企画展「星野富弘 花の詩画展 伊達展」

伊達市では星野富弘氏の花の詩画作品展を開催します。星野氏は中学校の教諭時代に頸髄を損傷し手足の自由を失いますが、口に筆をくわえて文や絵を書き始めました。飾らない言葉とあたたかみのある線で描かれた作品は大きな反響を呼び「花の詩画展」は全国各地で開催されています。

初日にはオープニングセレモニー、7月23日には群馬県みどり市立富弘美術館長の講演会や地元合唱団によるミニコンサートを実施します。

(1) 目的・対象

身近な野の花を題材にした花の絵と見る人の心に深く語りかけてくる詩が人気の作家・星野富弘氏の花の詩画作品の展示を行うことで、市民が気軽に芸術に触れる機会を提供することを目的として開催する。

(2) 日時

令和4年7月9日(土)～8月21日(日) 37日間
9時30分～17時(最終入館16時30分)
※月曜休館(祝日の場合は翌日)

(3) 場所

伊達市梁川美術館(伊達市梁川町字中町10 Tel024-527-2656)

(4) 参加(見込)人数

約5,000人

(5) 内容

星野富弘氏の原画やリトグラフ80点を展示。

イベント

- ① オープニングセレモニー 7月9日(土)9時45分～10時
場所：梁川美術館 1階ロビー
- ② 講演会・ミニコンサート 7月23日(土)
ミニコンサート(先着200名) 10時00分～10時25分
講演会(先着200名) 10時30分～12時
場所：伊達市立梁川小学校講堂
- ③ プレオープン(報道機関向けの内覧会) 7月8日(金)10時～
場所：梁川美術館 2階展示室

(6) 主催者 伊達市梁川美術館

(7) その他

一般 600 円、中学・高校生 300 円、小学生 200 円、幼児無料。

別紙チラシのとおり

※県内の美術館で星野富弘氏の原画を展示するのは、喜多方市以来約 20 年ぶり。

担当 | 教育部生涯学習課
電話 024-573-5709

富弘

花の詩画展

伊達展

いづちが一番大切だと
思っていたころ
生きているのが
苦しかった

いづちより
大切なものが
あると知った日
生きていくのが
嬉しかった



「いづち」(1986)

2022年

7月9日(土)~8月21日(日)

開館時間 9:30~17:00(最終入館は16:30まで)
初日(7月9日)のみ、オープニングセレモニー開催のため10時よりご入場いただけます。

休館日 7月11、19、25日、8月1、8、12、15日

料金 一般600円、中高生300円、小学生200円、幼児無料

割引 当展覧会チラシ持参またはダウンロードで100円引き、
障害者手帳(※)を提示で本人と介添え者1名まで無料
※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳

伊達市梁川美術館
2階展示室

主催 伊達市梁川美術館
協力 富弘美術館
後援 福島民報社、福島民友新聞社、河北新報社、
福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、
テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、
FMポコ

伊達市梁川美術館
Yanagawa Museum Of Art

美術館の情報やチラシのダウンロード
はこちらからどうぞ



状況により内容を中止・変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

不慮の事故で頸髄を損傷し手足の自由を失った星野富弘は、家族の献身的な介護を受け闘病生活を送る中で、口に絵筆をくわえ詩画を描き始めました。

題材となる花や植物に星野はあたたかくも畏敬の念を持ったまなざしで向き合い、時間をかけてあるがままの姿を写し取っていきます。そこに添えられている詩は、ときに優しく、ときにユーモラスに人間の弱さや強さ、美しさや醜さを綴り、見る人の心に深く語りかけてきます。

素直で心に響く詩と丁寧な花の絵は見る人の心を打ち、全国各地で開催されている「花の詩画展」には毎回多くの方が詰めかけ、画集やエッセイなども多数刊行されています。1991年には生家のある群馬県みどり市に常時作品を展示する「富弘美術館」が開館しました。

かざらない言葉とあたたかみのある線で描かれた星野富弘の世界をお楽しみください。



左「日日草」(1985年)、上「ベンベン草」(1979年)、右「小さな実」(1993年)



星野富弘 (ほしの・とみひろ)

1946年、群馬県勢多郡東村(現みどり市東町)に生まれる。

群馬大学教育学部体育科卒業後、中学校の教諭になるがクラブ活動の指導中頸髄を損傷、手足の自由を失う。

入院中に口に筆をくわえて文や絵を書き始め、1979年、前橋で開いた最初の作品展が大きな反響を呼ぶ。

1981年より雑誌や新聞に詩画作品や、エッセイを連載。1982年、高崎で「花の詩画展」を開催。

以後、全国各地で開かれた「花の詩画展」は、大きな感動を呼ぶ。

1991年、群馬県勢多郡東村に村立富弘美術館が開館(2005年にリニューアルオープン)し、2021年には入館者が700万人に達した。

2006年、群馬県名誉県民、2011年、群馬大学特別栄誉賞受賞。

著書:「愛、深き淵より。」(2000年/新版)、「新編 四季抄 風の旅」(2009年)、「かぎりなくやさしい花々」(1986年)、「鈴の鳴る道」(1986年)、「銀色のあしあと(三浦綾子氏との対談)」(2017年/新版)、「速さのちがう時計」(1992年)、「あなたの手のひら」(1999年)、「花よりも小さく」(2003年)、「山の向こうの美術館」(2005年)、「たった一度の人生だから(日野原重明氏との対談)」(2015年/新版)、「ことばの傘」(2016年/新版)、「風の詩」(2010年)、「種蒔きもせず」(2010年)、「詩画とともに生きる」(2015年)、「あの時から空がかわった」(2016年)、「足で歩いた頃のこと」(2017年)など。

ご来館のみなさまへ 新型コロナウイルス感染症予防のために

発熱や風邪に似た症状のある方、体調不良の方はご来館を控えてください。/入場の際に検温のご協力をお願いします。/混雑時には入場制限をする場合があります。/

出入口に消毒液を設置していますので、適宜ご使用ください。/ご来館の際は必ずマスクの着用をお願いします。また、咳エチケットの徹底をお願いします。

私にできることは、感謝して受けたいから、大きくなると、富弘美術館館長 せいりゅう きよしげ 聖生 清重

関連イベント

お問合せ 伊達市梁川美術館 ☎024-527-2656

7月9日(土) 9:45~10:00

◆オープニングセレモニー 会場 伊達市梁川美術館 1階ロビー

7月23日(土) 10:00~12:00(開場9:45)

◆講演会&ミニコンサート

伊達市内で活動する合唱団「コロ・アマンティ」による星野富弘作品の合唱曲の演奏の後、富弘美術館(群馬県みどり市)聖生館長の講演会を行います。

講演

「感動は生きる力
—星野富弘 その人と詩画作品—」

富弘美術館館長 せいりゅう きよしげ 聖生 清重



会場 伊達市立梁川小学校 講堂(伊達市梁川町字北本町21-1) ※梁川美術館より徒歩5分

入場無料 全席自由(先着200名)

お車でお越しの場合は、梁川中央交流館(梁川小学校南向かい)の駐車場をご利用ください。

◆伊達市立図書館にて特設コーナー設置

「星野富弘 花の詩画展 伊達展」開催期間中、伊達市立図書館(伊達市箱崎字川端7番地)では、「星野富弘特設コーナー」を設置し、関連書籍のご紹介をします。(月曜休館、9:30~19:00/日曜・祝日のみ17:00まで)

お問い合わせ・交通案内

〒960-0782
福島県伊達市梁川町字中町10
TEL/024-527-2656 FAX/024-573-1990

交通のご案内

- 阿武隈急行線「梁川」駅から徒歩20分
- 福島交通バス「梁川中町」バス停から徒歩2分
- 東北自動車道国見ICから車15分

※当館南側のお客様専用駐車場をご利用ください。
満車の場合、梁川中央交流館駐車場をご利用ください。



伊達市梁川美術館 🔍 検索



全国ネットのラジオ番組を活用した伊達の桃PR

伊達市では特産品である「桃」の魅力と美味しさを伝えるため、県内外の消費者に情報を発信するとともに伊達ブランドの確立と消費拡大につなげる事を目的とし、全国ネットのラジオ番組内で市長が生出演し、プロモーションを行います。

(1) 日 程 7月11日(月)～15日(金)

(2) 放送局 東京FM系列全国36局ネット

(3) 内 容

東京FM番組内「ONE MORNING」での伊達市産「桃」のPR

①伊達市産「あかつき」のプレゼント実施

期間中の6:30～6:39内で60秒程度告知。

番組Twitterをフォロー若しくはリツイートされた方の中から抽選で毎日5名様へそれぞれ3kg1箱を贈呈。

②市長生出演によるPR

7月14日(木)の8:38頃～8:45頃に市長が「ONE MORNING」へ生出演し、伊達市の特産品である「桃」のPRを行う。

(4) その他

令和3年度の実績 合計応募総数：32,541件

北海道における伊達市産「桃」のトップセールス

北海道と福島県は、明治時代に福島県の農民が北海道に移住し、開墾事業を進めていた事もあり、歴史的にも長い交流が続いています。

このような背景もあり、北海道市場で扱う桃の福島県産の割合が7割を超えるシェア率のため、大変重要な消費地区となっています。

伊達市では出荷が本格化する「桃」の消費拡大を図るため、市長をはじめとする関係者が北海道札幌市・旭川市でトップセールスを行います。

- (1) 日 程 7月20日(水)～21日(木)
- (2) 場 所 北海道札幌市、旭川市
- (3) 内 容
関係機関及び市場等への表敬訪問
①札幌市(北海道庁、札幌市役所、札幌商工会議所、札幌市中央卸売市場、市内量販店)
②旭川市(旭川市役所、旭川地方卸売市場、市内量販店)
- (4) 主 催 福島県くだもの消費拡大委員会
- (5) 参加者
伊達市長、桑折町長、JA全農福島県本部副本部長、
JAふくしま未来伊達地区役員代表、ミスピーチキャンペーンクルー他
- (6) その他
新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、今回は表敬訪問のみ行い、
例年実施している量販店での試食販売及びPRは行いません。

降ひょう被害に対する支援

伊達市では、5月21日及び6月3日に発生した降ひょうによる農作物被害について、被害額8千万円を超える多大な被害となったため、被害程度が3割以上の被害を受けた農家の方へ営農継続できるよう次年度生産に対しても支援を行います。

- (1) 福島県農業災害対策事業（本年追加分肥料・薬剤共同購入事業）
被害を受けた農作物の収量及び品質確保を図るため追加肥料及び追加防除に必要な資材の共同購入に対して、県1/3・市1/3を補助。ただし、8月31日までに購入し、追加肥料及び追加防除は1回分のみが対象。
- (2) 伊達市農業災害対策事業（次期作分肥料・薬剤共同購入事業）
次年度生産のために使用する農作物に与える肥料及び病害虫抑止など通常防除薬剤の共同購入に対して、それぞれ共同購入費用の10%を補助。
- (3) 収入保険への加入推進及び果樹共済掛金支援事業
近年頻発する自然災害に対し、収入保険や果樹共済への加入推進をJA等を通じて行います。また、果樹共済については本年度共済に加入申込された被災農家に対して、共済掛金の20%を補助。
- (4) 果樹降ひょう被害緊急対策支援事業
着果調節追加作業、追加防除、追加葉面散布作業などの必要となる管理作業費用に対して、10a当り19,000円を補助。
- (5) 農家経営安定資金（令和4年度降ひょう災害資金）
指定金融機関が被害を受けた農業者等に対して、300万円を限度に貸付を行うもので、JAを通じて貸付を受ければ無利子となります。
- (6) 傷害果等に対する支援
 - ①県が実施している【ふくしまプライド便】への出店応募へJA等を通じて誘導を図っていきます。
 - ②市内の6次化商品に取り組んでいる農家等へ、優先的に購入いただけるよう、JA等と連携し取り組んでいきます。
 - ③道の駅「だての郷りょうぜん」など市内の直売所において、被災農家の降ひょうによる訳あり商品とわかるよう、区別販売を行っていきます。

※今後補正予算での対応を予定し、支援額は12,000千円程度を見込んでいます。

市内で開催される夏のイベント

伊達市では新型コロナウイルス感染症対策により中止となっていた、夏まつりをはじめとする各種イベントを、感染対策を講じながら開催します。

(1) 【霊山こどもの村開園 50 周年記念式典】

日時 7月30日(土) 10時～

場所 霊山こどもの村(ミュージアム前広場)

内容 記念式典、りょうぜん太鼓演奏、バルーンリリース等

その他 子ども入園無料(子ども1人につき大人1人入園無料)

主催 伊達市

(2) 【サマーフェスティバル】

日時 8月11日(木・祝) 11時～19時

場所 保原総合公園簡易宿泊所とまっぺ駐車場

内容 詳細未定

主催 保原町商工会青年部

※3年ぶりの開催。昨年は、オンライン盆踊り大会、冬でもサマーフェスティバルを開催した。

(3) 【伊達のふる里夏まつり】

日時 8月14日(日) ※雨天時15日に順延

場所 梁川美術館前周辺

※信用金庫梁川支店十字路～ヨークベニマル十字路まで通行止め

内容 花火大会(19時45分～)

R2冬のサプライズ花火と同様に山と川2カ所から打ち上げ

主催 伊達のふる里夏まつり実行委員会(伊達市商工会)

※3年ぶりの開催。

(4) 【第43回小手姫の里夏まつり】

日時 8月16日(火)

場所 旧月館小学校、月見館橋周辺

内容 7時30分～ 灯籠流し

8時～ 打ち上げ花火(1,000発)

主催 小手姫の里夏まつり実行委員会

※3年ぶりの開催。

(5) 【第38回霊山太鼓まつり】

日時 8月21日(日) 10時～16時

場所 保原総合公園中央広場(旧亀岡家住宅前)

内容 霊山太鼓の同時打ち、伊達市内の太鼓(3団体)、
ステージショー(伊達なふるさと大使トークショー、MANAMI ライブ)

主催 霊山太鼓まつり実行委員会

※3年ぶりの開催。新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、規模縮小、時間短縮で開催する。

(6) 【第60回記念伊達ももの里マラソン大会】

日時 9月4日(日) 7時～

場所 保原中央交流館前(スタートゴール) ※雨天決行

内容 10キロ、5キロ、3キロ、2キロ、1キロの距離を28部門に分かれて
約2,000人のランナーが伊達路を走る

その他 ゲストランナー 椎野修羅さん(富士通陸上部所属)

主催 伊達ももの里マラソン大会実行委員会

※3年ぶりの開催。10kmと5kmに定員を設け開催規模を縮小して開催する。

(7) 【2022希望の森トライアスロン in やながわ】

日時 9月11日(日) 9時～

場所 伊達市梁川プール、やながわ希望の森公園など

内容 キッズ、中学生、スプリント、リレーの部

主催 希望の森トライアスロン実行委員会

※3年ぶりの開催。

※今後、記者会見やプレスリリースにて詳細をお知らせしてまいります。